

投稿規定

1. 本誌は、ゲシュタルト療法の研究と実践に関するコミュニケーションの場を提供することを目的とする。
2. 本誌は、ゲシュタルト療法を探求し、人格の統合を志向するというゲシュタルト療法を創造的に継承し、発展させることを目指している。この趣旨に貢献する内容で良質のものであれば、学際的なものも含めて、専門分野や論文スタイル（理論的研究、統計的・実証的研究、臨床的事例研究、比較文化的研究、歴史的研究、文献研究、展望など）には特に制限を設けない。
3. 投稿は本学会会員に限る。
4. 投稿の際は、執筆要領、投稿倫理規定を遵守すること。
5. 投稿された原稿の著作権は日本臨床ゲシュタルト療法学会に帰属するものとする。
6. 投稿論文は原則として返却しない。
7. 投稿は事務局に郵送する。
8. 本規定の改廃は編集委員会の同意を得て発議され、理事会の議を経て、総会の承認を受けるものとする。

投稿倫理ガイドライン

1. 投稿原稿には、虚偽記載や盗用等の不正がないこと。
2. 投稿原稿は未公開のものに限ること。また、同時に他の学術雑誌に投稿しないこと。
3. 事例を使用する場合は、対象者または法的保護者の承諾を得ること。また、原稿中にその旨を明記すること。
4. 事例を公表する場合は、投稿者自身が関わった事例とすること。
5. 原稿の表記については、適切な倫理上の配慮を行うこと。特に事例に関する記述は個人が特定できないよう、氏名の場合は、イニシャルではなく任意のアルファベットを使用する、年齢の場合は、「△歳代前半、後半」というように表記する、特定の年月日については、「X年Y月」等とするなどして、個人情報の保護に細心の配慮をすること。
6. 共同研究及び調査に係る投稿の場合、共同研究者、調査協力者、関係機関等の承諾を得ると共に、適切なフィードバックを行うこと。
7. 心理テストや尺度の利用には、著作権所有者の許可を得る等、適切な対応がなされていること。
8. 複数本の論文の投稿を希望する場合、現在本学会に投稿中の論文があるのならば、原則として、投稿中の論文の採択の可否が決まってから、次の論文を投稿すること。
9. 投稿する研究の実施に先立って、所属機関等で研究倫理委員会等の審査を受けた場合には、その旨を明記すること。
10. 本ガイドラインの改廃は、編集委員会において発議され、理事会の承認を受けるものとする。

本誌は日本臨床ゲシュタルト療法学会の会員の研究、研鑽を主たる目的として発行しております。

事例についても発表しておりますが、人権尊重の意味から、読者の皆様には、事例の秘密が保持されるよう十分な注意と配慮をお願い致します。